



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場会社名 日立化成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 田中 一行  
 問合せ先責任者 (役職名) CSR統括部 コーポレート コミュニケーションセンター長 (氏名) 加藤 淳 (TEL) 03-5533-7142  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	393,711	6.4	25,826	18.6	31,130	18.5	13,757	△36.6
26年3月期第3四半期	370,101	5.7	21,772	15.8	26,267	24.8	21,703	61.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 31,743百万円(△2.4%) 26年3月期第3四半期 32,538百万円(66.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	66.06	—
26年3月期第3四半期	104.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	549,793	360,906	64.4
26年3月期	508,080	336,386	65.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 353,946百万円 26年3月期 330,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
27年3月期	—	18.00	—		
27年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	7.3	37,000	33.2	41,000	27.8	21,000	△12.9	100.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 日立粉末冶金株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	208,364,913株	26年3月期	208,364,913株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	126,046株	26年3月期	122,189株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	208,241,010株	26年3月期3Q	208,245,742株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(四半期連結損益計算書)	P. 6
(四半期連結包括利益計算書)	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2014年4月1日から同年12月31日までの連結業績につきましては、売上高は3,937億11百万円(前年同期比6.4%増)と前年同期実績を上回りました。機能材料セグメントでは、スマートフォン等の堅調な需要に支えられ、ディスプレイ用回路接続フィルムや感光性フィルムの売上が増加しました。先端部品・システムセグメントでは、樹脂成形品の売上が海外拠点の新規立ち上げ等により増加したほか、産業用電池・システムやキャパシタが順調に売上を伸ばしました。その結果、営業利益は258億26百万円(前年同期比18.6%増)、経常利益は311億30百万円(前年同期比18.5%増)と前年同期実績を上回りましたが、四半期純利益は、福島第一原子力発電所の事故に伴う東京電力(株)からの補償金受取額の減少に加え、希望退職・転職支援制度の実施に伴う退職加算金および転職支援費用を当年度第3四半期に特別損失として計上したことにより、137億57百万円(前年同期比36.6%減)と前年同期実績を下回りました。

セグメント別の事業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載)。

## 機能材料セグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の6.1%増に当たる2,103億78百万円となりました。

## ① 電子材料

半導体用エポキシ封止材は、半導体市場の堅調な需要により、前年同期実績を上回りました。

半導体用ダイボンディング材料は、スマートフォン向け等の堅調な需要に支えられ、前年同期実績と同等の水準を維持することができました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、一部顧客における需要減の影響により、前年同期実績を下回りました。

電気絶縁用ワニスは、自動車向けの堅調な需要に支えられ、前年同期実績と同等の水準を維持することができました。

## ② 無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、環境対応自動車向けの売上が増加し、前年同期実績を上回りました。

カーボン製品は、鉄道車両用ブラシの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

## ③ 樹脂材料

機能性樹脂は、重電・自動車向けに硬化剤の需要が好調だったことにより、前年同期実績を上回りました。

粘着フィルムは、液晶ディスプレイの光学シート表面保護用の需要回復により、前年同期実績を上回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、スマートフォン向けの売上増により、前年同期実績を上回りました。

タッチパネル周辺材料は、一部顧客の需要減により、前年同期実績を下回りました。

## ④ 配線板材料

銅張積層板は、スマートフォン向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

感光性フィルムは、スマートフォン向け等の売上拡大により、前年同期実績を上回りました。

## 先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の6.7%増に当たる1,833億33百万円となりました。

## ① 自動車部品

樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品は、海外子会社の売上が貢献したこと等により、前年同期実績を上回りました。

## ② 蓄電デバイス・システム

車両用電池は、海外拠点の売上増等はあったものの、国内自動車メーカー減産の影響により、前年同期実績並みとなりました。

産業用電池・システムは、電動車用の売上増等により、前年同期実績を上回りました。

キャパシタは、風力・太陽光発電向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

## ③電子部品

配線板は、スマートフォン向け等の売上拡大により、前年同期実績を上回りました。

## ④その他

診断薬・装置は、アレルギー診断薬の売上が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

## (2)財政状態に関する説明

## ①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から417億13百万円増加し5,497億93百万円となりました。主に受取手形及び売掛金が増加し、流動資産が333億25百万円増加したことによるものです。

## ②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から171億93百万円増加し1,888億87百万円となりました。主に短期借入金が増加し、流動負債が231億27百万円増加したことによるものです。

## ③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末から245億20百万円増加し3,609億6百万円となりました。主に為替換算調整勘定が増加し、その他の包括利益累計額が169億86百万円増加したことによるものです。

## (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期業績につきましては、2014年12月15日発表の業績予想から変更はありません。

## 〔通期〕

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	5,300億円	5,300億円	—	—
営業利益	370億円	370億円	—	—
経常利益	410億円	410億円	—	—
当期純利益	210億円	210億円	—	—

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,419	49,096
受取手形及び売掛金	108,293	123,384
製品	20,921	25,772
仕掛品	13,888	16,517
原材料	15,526	18,379
関係会社預け金	57,238	51,663
その他	25,916	27,615
貸倒引当金	△726	△626
流動資産合計	278,475	311,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,947	61,552
機械装置及び運搬具(純額)	68,518	75,459
土地	21,577	21,746
その他(純額)	21,662	20,625
有形固定資産合計	171,704	179,382
無形固定資産		
のれん	19,079	17,415
その他	5,878	6,320
無形固定資産合計	24,957	23,735
投資その他の資産		
投資有価証券	13,681	15,638
その他	20,077	19,937
貸倒引当金	△814	△699
投資その他の資産合計	32,944	34,876
固定資産合計	229,605	237,993
資産合計	508,080	549,793

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,619	53,142
短期借入金	24,615	33,186
未払法人税等	5,238	3,037
その他	40,134	53,368
流動負債合計	119,606	142,733
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,616	7,202
役員退職慰労引当金	391	386
退職給付に係る負債	16,259	13,124
その他	4,822	5,442
固定負債合計	52,088	46,154
負債合計	171,694	188,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	36,113	36,113
利益剰余金	274,895	281,155
自己株式	△200	△208
株主資本合計	326,262	332,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,475	1,723
繰延ヘッジ損益	14	△23
為替換算調整勘定	2,146	18,832
退職給付に係る調整累計額	811	900
その他の包括利益累計額合計	4,446	21,432
少数株主持分	5,678	6,960
純資産合計	336,386	360,906
負債純資産合計	508,080	549,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年12月31日)
売上高	370,101	393,711
売上原価	279,290	298,507
売上総利益	90,811	95,204
販売費及び一般管理費	69,039	69,378
営業利益	21,772	25,826
営業外収益		
受取利息	262	316
受取配当金	203	279
持分法による投資利益	1,817	2,715
受取ロイヤリティー	1,364	1,444
為替差益	1,633	2,557
その他	2,592	2,163
営業外収益合計	7,871	9,474
営業外費用		
支払利息	1,079	1,298
固定資産処分損	599	502
その他	1,698	2,370
営業外費用合計	3,376	4,170
経常利益	26,267	31,130
特別利益		
受取補償金	4,932	2,626
特別利益合計	4,932	2,626
特別損失		
事業構造改善費用	-	12,882
特別損失合計	-	12,882
税金等調整前四半期純利益	31,199	20,874
法人税等	9,427	7,008
少数株主損益調整前四半期純利益	21,772	13,866
少数株主利益	69	109
四半期純利益	21,703	13,757



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,772	13,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	683	248
繰延ヘッジ損益	122	△37
為替換算調整勘定	9,296	16,488
退職給付に係る調整額	51	89
持分法適用会社に対する持分相当額	614	1,089
その他の包括利益合計	10,766	17,877
四半期包括利益	32,538	31,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,347	30,743
少数株主に係る四半期包括利益	191	1,000

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2013年4月1日至2013年12月31日)

(単位:百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	198,254	171,847	370,101	—	370,101
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,768	1,350	9,118	(9,118)	—
計	206,022	173,197	379,219	(9,118)	370,101
セグメント利益	19,227	2,557	21,784	(12)	21,772

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年12月31日)

(単位:百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	210,378	183,333	393,711	—	393,711
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,522	1,880	8,402	(8,402)	—
計	216,900	185,213	402,113	(8,402)	393,711
セグメント利益	24,253	1,649	25,902	(76)	25,826

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。